

平成28年度

第5回公民館運営審議会議事録

平成29年1月13日開催

平成29年1月24日承認

浦安市高洲公民館

○ 出席委員

委員	長	埴	勉
副委員	長	佐藤	一
委員	員	渡邊	藤
委員	員	森	一
委員	員	田中	聡
委員	員	田所	尚
委員	員	大田	恭
委員	員	永井	アケミ
委員	員	坂井	紀
委員	員	越村	康
			子
			子
			子
			子
			子
			昇
			潔
			英

○ 説明出席者等

生涯学習部部长	石田和明
生涯学習部次長	花田幸雄
高洲公民館長	高梨晶子
中央公民館長	中島貴義
堀江公民館長	金子義則
富岡公民館長	峰崎晃一
美浜公民館長	渡邊孝
当代島公民館長	伊藤勝則
日の出公民館長	岩井直介
生涯学習課長	橋野浩
事務局	岡本等
事務局	鈴木澄絵

平成28年度 第5回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成29年1月13日（金）午後3時～5時
- 2 開催場所 美浜公民館第3会議室
- 3 出席者
（委員）
埴委員長、佐藤副委員長、渡邊委員、森委員、田中委員、田所委員、大田委員、永井委員、坂井委員、越村委員
（事務局）
生涯学習部部長、生涯学習部次長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、生涯学習課長、高洲公民館主査、高洲公民館副主査
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
 - I 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶
 - II 協議
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（11月～12月）参加状況報告
 - (2) 第68回千葉県公民館研究大会参加報告
 2. 審議事項
 - (1) 平成29年度浦安市公民館運営方針（案）
 - III その他
 - (1) 次回会議の予定
- 6 議事概要及び会議経過
 - I 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶

II 協議

1. 報告事項

(1) 公民館主催事業（11月～12月）参加状況報告

各館の状況について、各公民館長より報告を行った。

(委員) 楽しいことや文化的な活動のサポートをするだけでなく、市民の意識が高いレベルであることを的確に捉えた講座を行っています。いじめや人権などの重いテーマにも取り組んでいた。市民の意見をくみ上げた活動をしていると感じました。

高洲公民館では、高洲児童センターとの共催事業がありましたが、児童センターとはどのような施設ですか。

(事務局) 児童センターはこども部に所属し、児童厚生施設となっています。児童福祉法に基づき、子どもたちの居場所や仲間づくりの場です。乳幼児から18歳まで利用でき、市内に東野の総合福祉センター内と高洲のエスレ高洲内の2カ所に設置しています。施設にはふれあいルーム、運動室、図書室などがあり、登録制となっています。職員は、保育士と児童厚生員がおり、非常勤職員として、プレイリーダーが子どもの遊びのサポートをしています。

(委員) 中央公民館の「憲法講座～くらしの中の憲法～」に参加しています。ぜひ公民館の職員にも聞いてほしいと思いました。講師や切り口を変えて、全公民館で憲法講座をぜひ開催してほしい。

(委員) 中央公民館と堀江公民館の千葉工業大学との協力や日の出公民館の音楽大学との協力は、年代が違う子どもと大学生がコラボできる講座で、とても印象的で良かったです。

(委員) 美浜公民館の「平和人権講座」ですが、硬く難しいテーマではあるが、切実な人権課題に正面から向き合い取り上げていくことで、参加した市民にも届いたということは、一つの大きな成果が見えてきたと思います。平和や人権講座は、硬い・難しいと避けてしまいがちですが、正面から取り上げてみるというのもとても大事ではないかと思いました。

当代島公民館の「家庭教育学級」ですが、当初は人数が集まらず成立しなかったが、練り直しをしながら「子育て支援講座」に繋げていったという事業の作り方が素晴らしいと思います。人が集まらなかった場合、ニーズがなかったので中止にするなど安直に考えがちだが、もう一度みんなで考えて作り上げていくのは素晴らしいと思いました。

(委員) 当代島公民館で行った、サンタさんへメッセージを付箋に書いて貼り出すという試みですが、小さいお子さんも足を運んでいる姿もあり、これから公民館を利用する方々にもとてもいいアイデアだったと思います。内容も現代の子ども状況を反映しているものもあり、とても微笑ましく、ぜひ続けてほしいと思いました。

(委員) 美浜公民館の「人権講座Ⅱ」の2回目の内容にDVがありましたが、参加

者の参加比率はどうでしたか。また、公民館事業の講座はどのように決めていますか。

(事務局) 美浜公民館の「人権講座Ⅱ」ですが、男女比率はおおよそ2:8でした。講座の組み立て方ですが、全体的な話をしますと、浦安市運営方針の中に主催事業の基本体系があり、年代や課題について7つの柱があります。また、事業の企画運営にあたっては、市民ニーズの把握や社会教育施設間の行政との連携、多様な学習方法の導入など8つの項目に留意しながら行っています。各公民館は、この体系に基づき施設の特性やこれまでの事業実践、地域の状況などをくみ取りながら作っています。

(委員) 公民館が始まったころは講師が始めから終わりまで話をすることが多かったが、今は、参加者が体験しながら行うなどの工夫がみられるようになりました。教える人、教わる人ではなく、色々な立場で共に学ぶというように変わってきている。取り上げる内容も担当者だけで決めるのではなく、色々なニーズを聞いて決めていることがわかります。

(委員) お父さんがお子さんを連れて参加する講座があり、定員を超える申し込みがあったとありましたが、男性が地域のコミュニティに参加することに、早い時期から取り組んでいただいていることがわかりました。退職されてからだとなかなか出るきっかけがないという話も聞きますので、他の公民館でも増やしていただければと思います。

(委員) 大学との連携事業がありますが、浦安にも了徳寺大学などがあるので、活用していただきたい。

(委員) ユニークなネーミングがありますが、上手く活用しながら参加者に興味を持っていただくよう工夫されていました。

(2) 第68回千葉県公民館研究大会参加報告

第68回千葉県公民館研究大会について、参加された委員より報告を行った。

2. 審議事項

(1) 平成29年度浦安市公民館運営方針(案)について

平成27年度から平成29年度の内容については変更はありません。ただし、その中で平成29年度重点事業について高洲公民館長より説明を行った。

(委員) サークルの団体数はどのくらいですか。またサークル一覧表は作っていますか。

(事務局) 約2,000団体の登録があります。登録の際に情報提供の有無を確認し、サークルガイドブックを作成し、閲覧用として情報提供を行っています。

(委員) サークルを立ち上げて育っていかない。育て上げる具体的な手法などを挙げてほしい。活発に活動しているのか、衰退しているのかを検証してから前に進めていくのも良いと思います。また、乳幼児や高齢者のサークルや講

座は多く、中・高・大学生や勤労者をターゲットにした講座が少ないように思います。

(委員) 公民館に一度も来たことがない人にどのように関わってもらうのか、触れ合うチャンスをどう作っていくか重要だと思います。

(事務局) 青年層の学びの場を公民館にどのように作っていくかは課題となっています。引き続き工夫しながらバランスよく事業が展開できるように行ってきたい。

(委員) 都会が近いので学びの場も多い。アクティブに動ける時期は公民館とのつながりは緩くてもいいのではないかと。小さいお子さんを持つお母さんや高齢者の方などが来られる場でいいと思います。

(委員) 小さな子どもたちのサークルや事業が多いが、その子どもたちが育った時に地域を活性化する力になってくれると思います。

Ⅲ その他

(1) 次回定例会議の予定

次回の第6回公民館運営審議会は、平成29年3月10日(金)午後3時から、高洲公民館で開催することを確認した。

以上で平成28年度 第5回浦安市公民館運営審議会は閉会した。